

ポーラ化成工業 研究所にて植樹式

市場で約10年ぶり^{※1}の美白有効成分 ピース ディーピー PCE-DP^{※2}を記念

ポーラ・オルビスグループの研究・開発・生産を担うポーラ化成工業株式会社(本社:神奈川県横浜市、社長:釘丸和也)は、新たな美白有効成分 PCE-DP(開発番号 MKS-518)を配合した医薬部外品「ホワイトショット LX」(販売名:WS ローション LX)および「ホワイトショット MX」(販売名:WS ミルク MX)の承認・販売^{※3}を記念して、2019年12月19日に同社の横浜研究所内にて植樹式を行いました。

※1 新規美白有効成分を配合した医薬部外品として。2018年12月時点の、医薬品医療機器総合機構の医薬部外品承認情報による。

※2 「メラニンの蓄積を抑え、シミ・ソバカスを防ぐ」効能・効果を有する新規美白有効成分。全成分名:デクспанテノール W。

※3 2019年5月24日に同グループの株式会社ポーラより発売。



ポーラ・オルビスグループ役員及び開発者代表が参加

ポーラ化成工業社長挨拶(抜粋)

「PCE-DPは、市場で10年ぶりとなる新たな美白有効成分です。シミのみならず肌状態も改善する新たなタイプの成分で、美白化粧品を新たなステージに導きました。植樹する木は、シミを克服する強い想いとポーラ化成工業の企業理念である「妙なる価値の創造」^{しろたえざくら}にかけて、「白妙桜」を選びました。今後も多くのお客さまに喜びをお届けできますよう祈念します。」

確実な機能と品質を追求

新たに承認を受けた製品は、有効成分探索の段階から安全性を重視し、10年もの歳月をかけて慎重に開発されました。その結果、新しい美白有効成分を含む医薬部外品として市場でおよそ10年ぶりとなる製造販売承認を厚生労働省から得ることができました。

ポーラ化成工業は、シワ改善^{※4}効果が認められた初めての^{※5}医薬部外品「ポーラ リンクルショット メディカル セラム」(2017年1月1日発売)、肌への機能が認められた初めての^{※6}特定保健用食品「オルビス ディフェンセラ」(2019年1月1日発売)を開発するなど、革新的な研究力と製品開発を強みとしています。

※4 日本化粧品学会で定めた、新効能の取得のための抗シワ製品評価ガイドラインの評価基準において、有意性が得られました。

※5 2016年10月現在、ポーラ化成工業調べ。

※6 2019年11月30日現在、発売商品として。オルビス調べ。

【報道関係者の皆さまからのお問い合わせ先】(株)ポーラ・オルビスホールディングス コーポレートコミュニケーション室
広報担当 Tel 03-3563-5540 / Mail webmaster@po-holdings.co.jp

【補足資料 1】 美白有効成分 PCE-DP(開発番号 MKS-518) について

(参考リリース)

承認に関するリリース(2018年12月20日)

「市場で約10年ぶり、新規の美白有効成分 ポーラ化成工業が医薬部外品の承認を取得
効果と安全性を追求した10年間」

http://www.pola-rm.co.jp/pdf/release_20181220.pdf

メカニズムに関するリリース(2019年4月22日)

「市場で約10年ぶりの新たな美白有効成分、PCE-DPのメカニズム
休眠しているエネルギー産生経路を起こし、メラニンが蓄積しにくい肌へ」

http://www.pola-rm.co.jp/pdf/release_20190422.pdf

【補足資料 2】 PCE-DP が配合されたポーラ ホワイトショット LX、MX について

商品名	ホワイトショット LX [医薬部外品]	ホワイトショット MX [医薬部外品]
形状	まろやかな感触の 白濁美白ローション	溶け込むように肌になじむ ジェル状美白ミルク
販売名	WS ローション LX	WS ミルク MX
容量	150mL (約 100 日)	78g (約 100 日)
価格	各 12,100 円(税込)	
販売 ルート	全国のポーラのお店、百貨店 公式オンラインストア	



・無香料／無着色 ・アレルギーテスト済み(全ての方にアレルギーが起きないというわけではありません)。

【備考】 ポーラ・オルビスグループの研究体制について

Frontier Research Center (FRC:フロンティアリサーチセンター)

(ポーラ化成工業株式会社)

ポーラ・オルビスグループの研究・開発・生産を担うポーラ化成工業株式会社のFRCは、株式会社ポーラ・オルビスホールディングスのMultiple Intelligence Research Center (MIRC:マルチプルインテリジェンスリサーチセンター)^{※6} が決定した研究戦略に基づいて、新価値創出を目的とした研究を実行し、新規・既存事業へ活用するシーズを創出する役割を担います。新規有効成分の開発を担うだけでなく、イノベーティブな研究を行います。



※6 Multiple Intelligence Research Center (MIRC:マルチプルインテリジェンスリサーチセンター)

(株式会社ポーラ・オルビスホールディングス)

化粧品の既存の枠を超えた新価値創出を狙い、ポーラ・オルビスグループ視点での研究戦略および知財戦略を策定し、研究成果のグループ最適配分の役割を担います。また、マーケットリサーチとイノベーション案件の探索に特化した専任スタッフを配置し、全世界から次世代のニーズを収集、最先端技術との連携や投資案件の探索を行います。